

# 知財コンサルティングセンター(PCIP)勉強会報告

開催日時 : 2023年10月30日(月) 18:30~20:00

タイトル : 経済安全保障の確保に向けて ~技術・データ・製品等の流出防止~

講師 : 猪股 浩司 様 公安調査専門職

参加申込者 : 35名

概要 : 国際社会において、現在、経済や先端技術分野への対応が安全保障上の重要課題となっている。各国が、自国の製造能力や技術向上を目指す中、懸念主体による技術・データ・製品等の獲得に向けた動きが活発化しており、我が国においても、適正な経済活動や研究活動を装って標的となる企業や大学等に接近し、目的を達成する事案等が発生している。

日本から技術・データ・製品等が流出した場合、それが大量破壊兵器等の研究・開発等に転用されたり、国内企業や大学等有する技術上の優位性等が失われたりといった恐れがあり、ひいては国家及び国民の安全が脅かされることにもつながりかねない。

本勉強会では、経済安全保障分野における公安調査庁の取組や我が国で発生した要注意事例等を紹介いただき、参加者とともに意見交換した。

主な内容は、以下のとおり

## 1. 公安調査庁の概要 :

法務省の外局として設置。経済安全保障の確保に向けた対応をしていることの説明

## 2. 国際情勢の日本への影響 :

米中対立、ウクライナ情勢、レピュテーションリスクを巡る内容の説明

## 3. 実務上の参考事例 :

日常の業務に潜在する経済安全保障上のリスクに係る事例の説明

## 4. 公安調査庁の広報活動 :

経団連とのシンポジウム、大学での講演を実施している

所感

- ・企業内で危機感を持てるのが重要となる⇒早い時期から、啓蒙活動が必要
- ・企業内での機材管理、アクセスの制限化
- ・管理マニュアルを作成し、可能な範囲で調査、立ち入り制限、アクセス制限の実施  
あやしいアプローチには、警戒心を持って臨むべき。

以上